



きらり☆立花小学校

文責 校長 高木淑文



1年間ありがとうございました

校門近くの桜の木のつぼみも随分大きくなってきています。春の訪れを感じる今日、令和5年度の最終登校日となり、修了式を行いました。

「光陰矢の如し」…1年間があつという間に過ぎた気がします。私自身、4月に赴任したことが、ついこの前のように感じられます。



卒業記念品の看板（校門東側）

今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が「5類」分類となり、少しずつ以前のような“日常”が戻ってきて、学校行事を含めての教育活動も自由度が大きくなり、活気ある毎日をご過ごせるようになりました。人数制限や時間指定のない授業参観、1日開催の体育大会、バザーを含めた立花フェスタの開催などもでき、“4年ぶりに”の言葉を結構使う1年となりました。

また、40周年の節目ということで、いくつかの事業にも取り組み、伝統を受け継ぐとともに、誇りをもって過ごす意識を高める1年となりました（記念クリアファイルを20日（火）に子どもたちに配付）。

毎日元気にのびのびと過ごす“立花の子”たちのもっているパワーは大きいものがあります。期待に応え、頼もしく感じる場面がたくさんありました。しばしばやんちゃなところを見せることもありました。やんちゃがあったとしても、「しまった」「いかんやった」と反省してしっかり“やり直し”ができればよし、ということで対応してきました。

“元気があれば何でもできる！”の言葉どおり、これからも『元気と笑顔があるれるカラフルな立花小学校』を目指していきたいと思っています。どうぞ引き続きご理解とご協力をたまわりますようお願いして、年度末のご挨拶といたします。1年間ありがとうございました。



修了式後に、転出・退職する職員の離任式を行いました。今朝の新聞に教職員の異動一覧が載っておりましたので、ご存じの方も多いかとは思いますが、本校でも13名の人事異動がありました（詳細は本日文書を配付）。期間の長短はありますが、それぞれと一緒に過ごしたり触れ合ったりした先生なので、寂しい思いをした子もたくさんいると思います。

「別れがあるからこそ人の世は美しく、出会いがあるからこそ人の世はずばらしい」

別れは寂しいものですが、別れがあればまた新しい出会いがあるのが人生です。寂しさを受け入れつつ、新学期の新しい出会いを楽しみにしたいと思います。

さて、明日から春休みです。学校のきまりを守り、その中で楽しい生活を送ってもらいたいと思っています。4月8日（月）が第1学期始業式です。子どもたちが元気に登校してくるのを楽しみにしています。